

## 目 次

日本語版への序文	
まえがき	
<b>第1章 プレカリアート</b>	1
プレカリアートが動き出す (1)／プレカリアートが動き出した (6) ／グローバル化の子ども (8)／プレカリアートを定義する (10)／労 働、仕事、遊び、余暇 (19)／プレカリアートの多様性 (20)／プレ カリアート化 (25)／プレカリアート化された精神 (27)／怒り、無 規範 (アノミー)、不安、疎外 (29)／おわりに (36)	
<b>第2章 プレカリアートが増える理由</b>	39
グローバルな転換 (40)／労働のフレキシビリティの魅惑——労働 の再商品化 (47)／不安定な失業 (67)／2008年の金融危機 (73)／公 共部門の空洞化 (76)／補助金国家——プレカリアートを破滅させ るもの (80)／影の経済 (83)／社会移動の衰退 (85)／結論 (86)	
<b>第3章 プレカリアートになるのは誰か？</b>	88
女性——生きることの女性化？ (89)／若者——都市の遊牧民 (97) ／高齢者——うめく人とほくそ笑む人 (117)／エスニック・マイノ リティ (127)／「障がい者」——再構築される概念？ (128)／犯罪者化 された人々——檻の向こうからやってくるプレカリアート (129)／ 結論的な要点 (131)	
<b>第4章 移民は犠牲者か、悪者か、それとも英雄か？</b>	132
新しいデニズン (137)／浮動的産業予備軍としてのプレカリアート	

(149)／順番待ちから障害物競争へ？(151)／途上国における安価な労働としての移民たち(153)／労働輸出レジームの形成(159)／結論的省察(164)

## 第5章 労働、仕事、時間圧縮 ..... 167

仕事(work)とは何か？(169)／第三次的仕事場(171)／第三次的時間(172)／労働強化(173)／労働のための仕事(175)／第三次的技能(176)／再生産のための仕事(180)／若者と「接続性」(184)／余暇の圧縮(186)／結論的な要点(190)

## 第6章 地獄に至る政治 ..... 192

パノプティコン社会(193)／プレカリアートを「幸せ」にする(206)／セラピー国家(207)／ワークフェアとコンディショナリティ(209)／プレカリアートを悪魔化する(213)／薄まる民主主義とネオ・ファシズム(215)／結論(224)

## 第7章 極楽に至る政治 ..... 226

デニズンシップの公正化(229)／アイデンティティの回復(231)／教育の救出(233)／労働だけではなく、仕事を(234)／労働の完全な商品化(236)／職業の自由(238)／仕事権(241)／ワークフェアとコンディショナリティの打倒(243)／協同的自由——プレカリアートの代理機関(245)／平等の復活(250)／ベーシック・インカム(251)／安全保障の再分配(254)／金融資本の再分配(258)／自分の時間をコントロールする(261)／コモンズを取り戻す(263)／余暇交付金(265)／結論(268)

### 文献目録

監訳者あとがき

索引

著者・訳者紹介